

# 教育環境改善 プロジェクト 確かな学力のために

▶▶ 18

「分かる授業」への改善に向け、ICT機器を使った拡大投影による公開授業の様子

ノートを大きく映して説明、計算の仕方と答え合わせ、グラフや図形の勉強などの回答があり、各教科の授業でICTが効果を発揮した学習シーンが具体的に把握できた。同財団のアドバイザーとして同校の公開研に訪れた京都教育大学の浅井和行教授は4年生の算数の公開授業を参観して次のように語る。

「ICT機器を使った拡大投影により、子どもたちの理解が深まっていると感じた」

公開研終了後には、浅井教授と同校教員らとで、同財団の特別研究指定校としての今後の実践研究への取り組みについて会議が行われた。

浅井教授は、動画やネットワークを上手に使用して、子どもたちが自身が学びたくなるような授業研究について示唆した。

また、学力向上を意識したICT活用による授業づくりについて、校長、教員それぞれの立場から多くの質問も出た。ICT活用による苦手意識を持つという教員に浅井教授は「他校視察や研修会への参加などから、いろいろなやってみることは大事。ただ、授業によっては無理して使わずに、雰囲気づくりというように使い方を子どもたちにもやる気につなげることも必要」とアドバイスした。

会議の最後に、府中らしい実践研究についてアドバイスを求められ「府中小は、教員が児童一人一人を大事にした教育活動を行っている。子どもの実態に合わせながらICT活用に取り組んでみては」とした上で「そのことを意識して授業研究を重ね、記録・蓄積していくことで府中小らしい研究成果につながる」と同教授は会議をまとめた。

公開研や会議での討議の様子から財団への助成申請をきっかけに、教員間で学力向上を目的にICT活用による分かる授業づくりという共通理解を持ち、子どもたちのために授業改善を図ろうとする同校の熱意や意欲が伝わってきた。

香川県坂出市立府中小学校（宮下良造校長、児童274人）普通学級11、特別支援クラス2）は、昨年12月、授業でのICT活用についての公開研究会を行った。同校では、平成19年度まで、コンピュータ教室はあるものの全校的にICT機器の整備が進んでいなかった。

このため、教員たちは「ICT活用の良さは理解できて、無いものは使えない」というジレンマや、「どのような機器を使えば、子どもたち

「分かる授業」へと改善することが狙いである。助成金でプロジェクト、書画カメラをそれぞれ3台ずつ購入することができた。これが呼び水となり、PTAの協力もあって現在では、プロジェクト9台、書画カメラ8台を備えるまでになった。研究主任の藤川直人教諭は「全クラスとまではいかないまでも、各学年で普通の教室の、普通の授業で、普通にICT機器が使えるようになった」と、ハード面での整備の

## 香川県坂出市立府中小

# 「分かる授業」ICT活用し成果

の学習意欲を高めることができるのか分からない」との悩みを抱えていた。

そこで同校は「それでも、いつでもどこでも、ICT機器を使うことのできる教育環境づくり」を行い、すべての普通教室におけるICT機器の効果的な活用によって、「個に応じた学習支援活動を通して、意欲の向上と基礎・基本の確実な定着を図る」ことを目的に20年度、パナソニック教育財団に助成を申請した。

ICTを活用して授業を進展に笑顔を見せる。

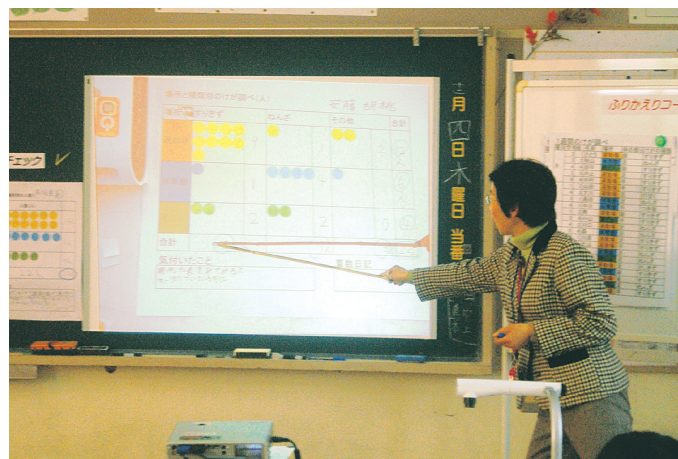
さらに、どの教員でも簡単に使えるようにプロジェクトと書画カメラ、必要に応じてビデオデッキなど一式を常に接続した状態のままワゴンに乗せ移動しやすとした

ICT活用研修にも力を注ぐ。夏休みには県教育センターの指導主事を講師に招いた。また、教職員全員が授業

実践から効果的な活用場面を、選んで教員間で意見交換し、マニュアルにまとめた。

昨年7月、全学年でアンケートを実施したところ、「先生がICTを使った授業は好きだ」という回答がほぼ80%を占め、「ICTを使うと学習がよく分かる」と答えた子どもたちは72%に達した。

理科、国語、社会、算数の4教科で「どんなときにICT機器を活用すると学習がよく分かるか」との質問では、例えば算数の場合、教科書や



## 機器使う環境整備、研修… ICT授業好き児童80%に

また、学力向上を意識したICT活用による授業づくりについて、校長、教員それぞれの立場から多くの質問も出た。ICT活用による苦手意識を持つという教員に浅井教授は「他校視察や研修会への参加などから、いろいろなやってみることは大事。ただ、授業によっては無理して使わずに、雰囲気づくりというように使い方を子どもたちにもやる気につなげることも必要」とアドバイスした。

本連載、過去の記事は、日本教育新聞コミュニケーションサイト「先生解決ネット」(<http://www.kyoiku-press.com>)もしくは、パナソニック教育財団HP(<http://www.pef.or.jp>)から閲覧できる。

◇この連載は、(財)パナソニック教育財団 (URL=<http://www.pef.or.jp>) と助成先の協力により実施しています。

## 特別研究指定校編

④

次回は2月23日付に掲載